

# 事例で学ぶ基幹情報システムの業務知識入門～業務知識を身に付けて仕事に差をつける

## 【会場・オンライン同時開催】 (4124201)

本セミナーでは事例を多く取り込んで基幹業務全体を俯瞰し、「標準的な業務フロー図」を図解しながら、業務のイメージを持っていただき、できる限り多くの「業界用語」を取り入れて参加者に「業務知識」を体系的に習得いただき、現場ですぐに使えることを目標にしています。さらに業務知識をお持ちの方も改めて、今まで蓄積した業務知識の「整理」や「気づき」を体感していただけます。長年業務を経験したノウハウを皆さんに伝授します、業務知識を高めるチャンスです。

開催日時	2024年6月14日(金) 10:00-17:00	
JUAS研修分類	ビジネススキル(業種・業務知識)、ビジネススキル(業種・業務知識)	
カテゴリー	IS導入(構築)・IS保守 <b>専門スキル</b>	
講師	<p>藤田喜徳 氏 (JLean社 日本支社長) 元花王株式会社経営監査室長 元カゴメ・オーストラリア経理責任者 元ウェザーニューズ社執行役員経理・財務主責任者</p> <p>1988年花王株式会社入社。主に経理、海外事業、管理業務に従事する傍らタイ、ドイツ駐在。海外子会社の業務標準化、BPR、SAP導入のプロジェクトマネジメントを現場業務視点でリード。加えてJ-SOX整備・導入リーダー、IFRS導入リーダー等を務めた。退職後はその経験を活かしカゴメ(株)において海外事業推進、三菱自動車工業(株)にてASEANのリージョナルコントローラー、(株)ウェザーニューズにおいて経理・財務責任者を歴任し、現在シカゴに拠点を置く経営コンサルティング会社JLeanの日本支社長を務める。</p> <p>山田美代子 氏 (システムデザインオフィス合同会社 代表社員 ITコンサルタント) 食品製造業のシステム部門として、システム開発・保守・運用に携わる。その後、IT企業にて海外ERP導入コンサルタント、プリセールスを経験。 ERP研究推進フォーラムでは主席研究員として、ERP導入における課題調査・研究活動に従事し、理論と実務の両面から知見を蓄積。 現在は、ユーザー企業・IT企業双方の立場を理解するITコンサルタントとして、業務整理・構想策定といった上流工程を強みに、業務効率化(BPR)、RFP策定、要件定義支援を行っている。 研究で得た知見を現場で使える形に落とし込み、「現場とITの認識が噛み合わない」「判断材料が整理されていない」といった課題に対し、実行につながる業務改革を支援している。</p>	
参加費	JUAS会員/ITC: 35,200円 一般: 45,100円 (1名様あたり 消費税込み、テキスト込み) 【受講権利枚数1枚】	
会場	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会 (NBF東銀座スクエア2F)	
対象	情報システム部門において業務システムの開発・運用・保守を担当される方 <b>中級</b>	
開催形式	講義、グループ演習	
定員	25名	
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。 (2時間1ポイント)	
ITCA認定時間	6	

### 主な内容

#### ■受講形態

【選べる受講形態】

- A. 会場にてご参加
- B. オンラインにてご参加: 【セミナーのオンライン受講について】

#### ■テキスト

- A. 会場にてご参加: 当日配布

B. オンラインにてご参加：開催 7 日前を目途に発送（お申込時に送付先の入力をお願いします）

※開催 7 日前から開催前日までにお申込の場合、テキストの送付は開催後になることがあります。ご了承ください。

## ■開催日までの課題事項

特になし

企業活動の基本の流れは「モノの流れ：購買～生産～販売」と「カネの流れ：仕入～買掛～支払、売上～売掛～入金、一般会計」です。

モノとカネの流れを理解するためには「業務知識」が必要です。

業務知識は利用者へのヒアリングや設計書作成をはじめ、コミュニケーションには欠かせない重要な能力です。

さらには業務知識がなければ曖昧な要件定義となり、結果、ITベンダーにうまく伝わらずに品質の良いものを得られなくなります。

本セミナーでは事例を多く取り込んで基幹業務全体を俯瞰し、「標準的な業務フロー図」を図解しながら、業務のイメージを持っていただき、できる限り多くの「業界用語」を取り入れて参加者に「業務知識」を体系的に習得いただき、現場ですぐに使えることを目標にしています。

さらに業務知識をお持ちの方も改めて、今まで蓄積した業務知識の「整理」や「気づき」を体感していただけます。

長年業務を経験したノウハウを皆さんに伝授します、業務知識を高めるチャンスです。

## ◆学習目標

- ・基本業務用語や業界用語を理解し、利用者と会話ができるようになる
- ・基本業務の流れ、ルールなどを文字化・図式化できる

## ◆主な内容

### 第1部 業務知識がなぜ必要か

#### 1 業務知識がなぜ必要か

- (1)利用者との会話には必須の知識
- (2)設計書作成時の必須知識

### 第2部 企業活動の基本の流れ

#### 1 全体概要を俯瞰する

- (1)モノの流れ：購買～在庫～販売
- (2)カネの流れ：仕入～買掛～支払、売上～売掛～入金、一般会計
- (3)与信
- (4)内部統制

### 第3部 基幹系業務標準の流れを習得する

#### 1 販売業務

- (1)基本用語の確認(EDI、有償/無償支給、製品と商品、出荷と出庫、積送品、直送、帳合、リベートなど)
- (2)業務の流れ

1. 業務フロー
2. 必要な入力出力情報
3. 必要なデータ構成

#### 2 購買業務

- (1)基本用語の確認(入荷と入庫など)
- (2)業務の流れ

1. 標準業務フロー
2. 必要な入力出力情報
3. 必要なデータ構成

#### 3 在庫業務

- (1)基本用語の確認(有効在庫と実在庫、ロット管理、ロットトレーサビリティ、循環棚卸と一斉棚卸、棚卸計算など)
- (2)業務の流れ

1. 標準業務フロー
2. 必要な入力出力情報
3. 必要なデータ構成

#### 4 売掛金業務

- (1)基本用語の確認(インターネットバンキング、FB、手形、でんさい(電子記録債権電債)、小切手、帳端、決済条件など)

(2) 業務の流れ

1. 標準業務フロー
2. 必要な入力出力情報
3. 必要なデータ構成

5 買掛金業務

(1) 基本用語(相殺など)

(2) 業務の流れ

1. 標準業務フロー
2. 必要な入力出力情報
3. 必要なデータ構成

6 会計業務

(1) 基本用語の確認 (勘定科目とは)

(2) 業務の流れ (日次、月次)

1. 標準業務フロー
2. 必要な入力出力情報
3. 必要なデータ構成